

令和5年8月度夢甲斐塾運営会議議事録

開催日時：令和5年8月1日（火）19:30～21:00

会場：地域コミュニティ広場 花水木 + オンライン(ZOOM)

参加者（会場）：入倉塾長、柴田副塾頭、松田副塾頭、酒井事務局長、久保田事務局次長、
厚芝幹事、雨宮幹事、飯島24期生募集委員長、
山田亮一18、飯島21、佐藤21、三好22、網倉23、中野23、渡邊23

参加者（ZOOM）：青柳夢甲斐フェスタ実行委員長、勝俣23期生お世話係長

※過不足がありましたら申し訳ありません。

（名前の後ろの数字は期を表す。名前に重複がない者は、以降役職と数字を省略。
同期で名字に重複がある者も、出席者内で重複がない場合は下の名前も省略。）

司会：酒井事務局長

議事録：酒井事務局長

《項目》

- 0. はじめに
- 1. 23期生募集 [募集委員会(20期主/21期・22期副)担当/事務局共催] の報告
- 2. 6月塾生例会(23期生入塾式) [20期主催/17期・21期・22期・事務局共催] の結果
- 3. 令和4年度通常総会 [事務局主催/21期共催] の詳細
- 4. 8月塾生例会 [22期主催/23期必修] の詳細
- 5. 9月塾生例会 [22期主催/23期共催] の詳細
- 6. 10月塾生例会(合宿例会) [22期主催/22期生お世話係・20期・23期共催] の概要
- 7. 11月塾生例会(夢甲斐フェスタ) [実行委員会主催/16期・20～23期共催] の概要
 - 夢甲斐フェスタ_志「推し」コンテスト
- 8. 11月塾生例会(本来の名称は別) [22期主催/23期共催] の概要
- 9. 郷育フォーラム
- 10. 7月22期生塾長例会 [22期主催] の結果
- 11. 22期度パンフレット [22期担当] の結果
- 12. 22期生の活動状況報告
- 13. 7月23期生修理固成研修 [20期主催] の結果
- 14. 23期生の活動状況報告
- 15. 各部会 [各部会の部会長主催] の報告
 - まちづくり分科会
 - こども夢甲斐塾
 - 道徳部会
- 16. 20周年記念事業 [20周年実行委員会担当] の結果
- 17. 国家百年の計の会の詳細
- 18. その他
 - 防災イベントについて
 - 令和4年度夢甲斐フェスタ in 郷育フォーラム2『祈りの絵画展』について
 - 朝日通り商店街夏祭りについて
 - 山梨市の花火大会について
 - 小泉孝造さんの訃報について
 - 本日の運営会議終了後の作業について

《概要》

■ 0. はじめに：酒井

一斉発送物の袋詰め作業へのご協力ありがとうございました。

まだ作業が残っているので、会議を早く終わられると助かります。

補足説明：

入倉：今日参加している 23 期生は、参加しなかった 23 期生に報告する役割もあるので、そのつもりで聞いていて欲しい。

もう終わったことについては必要ないから、これからある事だけでいい。

中野：詳しくはイベント参加表明リストを参照ということによろしいですか？ →可

■ 1. 23 期生募集 [募集委員会(20 期主/21 期・22 期副)担当/事務局共催] の報告：勝俣

■ 2. 6 月塾生例会(23 期生入塾式) [20 期主催/17・21・22 期・事務局共催] の結果：勝俣

-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 01_23 期生募集委員会資料.PDF-----

資料に沿って説明

■ 3. 令和 4 年度通常総会 [事務局主催/21 期共催] の詳細：酒井

(資料なし)

7 月 12 日(水) 19:30~20:30@甲府市総合市民会館 3 階会議室 4 にて開催

出席者：会場参加約 30 名 WEB 参加 2 名 合計約 32 名

本日作成した発送物に封入する総会資料に掲載した新体制について提案を行い、承認されましたので、無事新体制で新しい期が始まった。

■ 4. 8 月塾生例会 [22 期主催/23 期必修] の詳細：三好

-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料.PDF P4-----

資料第 2 - 2 項に沿って説明

ウッドガスストーブはトマト缶とミルク缶から作れてエコな上に完全燃焼するため少量の木でも火力が強く、燃え残りも少ない。軽くて小さくて持ち運びやすいので 1 家に 1 台あると災害時に大変役に立つ。

参加費は資料では 7000 円とあるが 6000 円に変更。当初駐車場代 880 円を入れていたが、乗りあわせも想定して別途実費で払う形に変更した。

■ 5. 9 月塾生例会 [22 期主催/23 期共催] の詳細：三好

-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料.PDF P4-----

資料第 2 - 3 項に沿って説明

質疑応答：

入倉：ここで課題本の発表はできそうか。

三好：森の中でやれば問題なし。最高に気持ちいいでしょう。

酒井：23期生の皆さん、課題本研修がありますので忘れずに。

■ 6. 10月塾生例会(合宿例会) [22期主催/22期生お世話係・20・23期共催] の概要：三好
-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22期資料.PDF P4-----

資料第2-4項に沿って説明

防災をテーマにしてきた活動の集大成。

段ボールを持ち込んで実際に避難所に泊まろうという企画。

また、人間だけが排泄物も死体も燃やして自然の循環を止めているということに注目し、30年間野糞を続けていて、ウンコがその後土の中でどうなるのかを1ヶ月、半年後と調べてキノコなどの研究もしている人を講師にお呼びしているので楽しみに。

■ 7. 11月塾生例会(夢甲斐フェスタ) [実行委員会主催/16・20~23期共催] の概要：青柳
-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 03_夢甲斐フェスタ資料.PDF P1-9-----

資料に沿って説明

「夢甲斐フェスタとは？」16期以降、我々も含めて、集まって会議をしようとする、必ずまずこれを聞かれる。毎回説明に時間を取られるのは勿体ない。夢甲斐フェスタに限らず、それぞれの言葉を一言で説明できるものを用意すべきと提案したい。

今回は白倉塾長を主役に、という点を一番に置く。白倉塾長が何処が一番想いが強いのかを聞いたところ、志は立てるだけでは意味がなくて、どう展開していくのかを自分自身で考えてくださいとのこと。そしてその結果が社会に対してどう影響していくのかを自覚することが大切なのだが、皆さんは何処まで自覚して実践しているのか。と仰っていた。

もう1つは古事記のこと。例えば、松下電器は松下幸之助の経営理念に沿って立ち上がったもので、この経営理念にそぐわない人は、違うと思うなという人は辞めていったと思う。白倉塾長のお考えとしては、古事記は日本が国家としての正しい判断基準を初めて示したもので、国家としての存立の経緯を書き記したものである。これは言わば経営理念に当たり、この古事記や皇室を否定することは、自分を否定することになるのではないかと仰っていました。なので、何らかの形でこの中に古事記を盛り込んでいきたいと思っている。

補足説明：

入倉：夢甲斐フェスタという言葉の意味を明確にすることはとても大切。

10期の時に作ったわかりやすくまとめたものがあるので山田さんに渡しておく。

質疑応答：

渡邊：僕ら23期は集客の役割に入っているが、入ったばかり繋がりが無いがどうしたら？

→パンフレットの協賛を集める際にこの話もして欲しいということ。

入倉：予算は？

→会場費、チラシなど諸々で5万円以内の予定。上甲先生の旅費や宿泊費は別でよいか。

→厚芝：夢甲斐フェスタは5万円。上甲先生の費用は別でよい。

●夢甲斐フェスタ_志「推し」コンテスト：飯島

-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 03_夢甲斐フェスタ資料.PDF P10-----

-----表示資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 03_夢甲斐フェスタ資料.PDF P11-18-----

資料に沿って説明

質疑応答：

入倉：この資料は誰が作るのか。

→僕が作ります。→滅茶苦茶大変では？→やれないことはない。→素晴らしい。

入倉：盛り沢山過ぎる気がする。パネルコンテストは素晴らしいがかなりのボリューム。

3塾長のパネルディスカッションで白倉塾長を主役に、ということか？

→はい。入倉塾長の上手なファシリテーターをお願いしたい。

→わかりました。ただ、ここに古事記も盛り込むとなると難しいと思う。

厚芝：夢会塾生は色んな所で色んな活動をやっている。

みんな頑張ってるのに、それに甲乙をつけるのはどうかと思う。

飯島：そこはコンテストという企画名を変えればよい。

入倉：出る杭としてはそれもいいと私は思う。上甲塾長の志実践活動発表に夢甲斐塾からもという話もあるので、ここから何人かが青年塾と一緒に発表に出られればと思う。もしくは、塾長賞や塾頭賞にして、好みで選ぶというなら順位でなくなる。

山田：色んな意見は集めるとして、僕は順位を付けることに悪い印象はない。競争をしないという風潮に保育園で手を繋いでかけっこをする様な違和感を受ける。

コンテストというのは今までやってきていないこと、だからこそやりたい。

1期で1人出るとなれば同期生を応援しようと盛り上がるし、若い期的人是古い期の人を知らない。僕も紹介したい人が何人かいるのでプレゼンする機会にしたい。単なるパネル展示は面白くない。順位を付けないとそこに熱量が生まれえない。また、まちづくりや地域の活動をしている人には見返りが無い。地道な活動している人は結構いるが、例えば新聞やテレビに取り上げられた時にわずかに報われるが、それまでに時間も労力も結構費やしているので、これが報われる瞬間にしたい。

雨宮：白倉塾長を主役にするなら、パネルコンテストの出場者は白倉塾長の指導を受けた16~22期から選んだ方がいいのではないかな。

青柳：そういう話も出ましたが、逆に上の先輩塾生の話も聞きたいという意見もあった。

山田：白倉塾長を主役にするなら白倉塾長の教えを受けた人を、というのは凄く綺麗な論理なので、これは1つ否定しないで持ち帰って相談する。

一方、1~15期の先輩を紹介するのは入塾から現在、これからのストーリーに凄く広がりがある。10年経って成果を出している人にもフォーカスを当てたい。

また、折角入ったのだから、足の遠のいている先輩に足を運んでもらうきっかけ

にして欲しい。1 桁の期で運営会議に来ている人は少ない。そういう人を呼び戻すきっかけにしたい。そういう意味で古い期に興味はある。
僕自身、推薦したい人は高野さん。彼は文化芸術を重視したいということで桜座を復活させた中心人物。この人を紹介したい。一般人でも情熱があれば到達できるということ、可能性が無限であるということ、今ここで示して欲しい。
夢甲斐塾だから夢を語れる場所であって欲しい。

渡邊：これは一般の人でも参加できるのか？ 凄い人が来るというなら、一般の人にも見てもらえば、募集にも繋げていけば一石二鳥なのではないかと思う。

青柳：いい質問をしてもらった。広く一般の方を呼ぶとなるとハードルが上がると聞いた。それを、例えば入塾予定者に限るのかとか。

柴田：公開例会ではないので広く一般までは広げない方がいいと思う。

入倉：完全に公開は難しい。例えば発表する活動の分野の関係者を呼んではどうか。

酒井：言葉の定義としては、公開例会は、チラシを撒いたりネットで告知したりして不特定多数に呼び掛けて、はじめましての知らない人も来るのが公開例会。

通常の塾生例会でも塾生の紹介があれば参加できるので、一緒に参加したいと思う人がいたらどんどん連れてきて問題無い。先に説明のあった8月や9月の塾生例会などにどんどん知り合いを連れてきて募集に繋げて欲しい。

雨宮：塾生をピックアップするのに、志手帳を活用してはどうか。

→その予定。19 期に載っている福田さんに声掛けしてみようと思っている。

提案事項：

山田：一番不安なのが実現可能性。塾生手帳でも苦労して時間がかかった。

この企画は自分を売り込む話になるのもっとハードルが高い。

だから、推薦者と対象者をセットにして2人一組でやってはどうか。

具体的には、僕は高野さんを推薦したいので、僕が高野さんに個別に連絡をとって、高野さんから写真や文章をもらって、パワポに落とし込むところまでを僕がやる。

発表も、過去と現在は僕が喋り、本人には未来だけを語っていただく。これは一案。

若い人が入ればPCスキルという点はクリアされるし、人から推薦されてなら、よしやってやろうという気になる。

雨宮：自分でエントリーして自分で作って発表したい人がいたら？

山田：18 期生を推薦者に当て込むので、そういう人がいたら連絡ください。

追加情報：

青柳：夢甲斐フェスタ実行委員会の LINE グループでミーティングの報告などもしているので、23 期生の方々も入って情報を覗きにきていただけるとありがたい。

入倉：9月の運営会議で内容をFIXして、あと2ヶ月で作り上げるというペースで。

勿論、声掛けなど、先に動ける所は動き始めるとして。

■ 8. 11 月塾生例会(本来の名称は別) [22 期主催/23 期共催] の概要 : 三好

-----配布資料 : R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料. PDF P4-----
資料第 2 - 5 項に沿って説明

補足説明 :

酒井 : 11 月塾生例会は夢甲斐フェスタ。延期した 7 月塾生例会を 12 月に開催するなら、
こちらは 12 月塾生例会を 11 月に前倒しにしたもの、という扱いになる。

■ 9. 郷育フォーラム : 久保田

-----配布資料 : R050801 夢甲斐塾運営会議資料 04_郷育フォーラム資料. PDF-----

例年 10 月に体験型イベントを行っていたが、今年は 10 月を大人向けの講演会にして、9 月に甲府市が行う子供向けイベントに with 郷育フォーラムという形でコラボする形をとる。今年も夢甲斐塾として参加しないということなので、僕の郷土教育団体ふるさと HOMARE で参加して餅つき大会を行うので、お手伝い求む。

補足説明 :

柴田 : (「郷育フォーラムとは」を説明)

例年郷育フォーラム内で夢甲斐フェスタを開催していたが、今年の夢甲斐フェスタは別開催となって、郷育フォーラム当日にも参加が難しいということを伝えたところ、告知で協力してほしいとのことだった。チラシはまだデータでしか来てない。

酒井 : 10 月開催の郷育フォーラムの本体は合宿例会と重なっていて参加できないため、塾生は 9 月 16 日(土)のイベントの方に積極的に参加を。

質疑応答 :

雨宮 : 餅つきの予算は?

久保田 : 郷育フォーラムからも甲府市からも出ないので、自腹で。

柴田 : 毎年 2 万円程予算計上していたはずだが・・・。

網倉 : 実は例年春開催の餅つき大会が出来なくて餅米が余っているがどうですか。

久保田 : ありがたくいただきます。

■ 10. 7 月 22 期生塾長例会 [22 期主催] の結果

-----配布資料 : R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料. PDF P1-2-----
資料に沿って説明

■ 11. 22 期度パンフレット [22 期担当] の結果 : 三好

-----配布資料 : R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料. PDF P4-----
資料第 3 項に沿って説明

質疑応答：

酒井：入倉塾頭（当時）からのお礼を載せるという話はなかったか？

入倉：それを行うと毎年になるのでやめた。基本は期で行うものなのでお礼も期で。

また、基本は協力する気であるが来ないと協力しないというスタンスなので、お礼はメールでよい。私などは来られても困る。

メールをして、電話で確認をしていれば「連絡が来ない」と怒る人もいないと思う。

■12. 22 期生の活動状況報告

-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料. PDF P4-----

資料第 1 項に沿って説明

-----参考資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料. PDF P3-----

■13. 7 月 23 期生修理固成研修 [20 期主催] の結果：酒井

（資料なし）

本来は 23 期生お世話係（20 期）主催だが、対応困難とのことで酒井が代役を務めた。

第 1 回目の修理固成研修の講師は入倉塾長

出席者：23 期生 15 名中 14 名参加、23 期生以外 5 名参加

初回なのでまずは塾長から研修の方針についての説明を行った。

第 1 回目の内用は課題本研修

課題本『松下幸之助の教訓』第一章人生に向かう態度 キーセンテンス 1~14 を読み
どのキーセンテンスが一番心に響いたかを理由を添えて 1 人ずつ発表し、その発表を元
に入倉塾長と質疑応答を行った。

課題本の第二章以降は今後共催以上の塾生例会において 10 分時間を確保し、発表者と
質問者で発表と質疑応答の計 5 分を 2 組行う。22 期は塾生例会でこの 10 分の確保を。

質疑応答：

網倉：修理固成研修係なので、第 2 回の講師になる白倉先生とはどう日程調整をしたらよい
のかとか、過去の修理固成研修の日程は曜日で決まっていたのかなどを知りたい。

酒井：一旦事務局が間に入って白倉先生との日程を調整していく。修理固成研修は今年か
らなので過去の例はないが、塾長例会では第何何曜日という決め方をしていた。

■14. 23 期生の活動状況報告：渡邊

（資料なし）

8 月 9 日（水）19 時から花水木さんと、スキル経験 etc の方向性、やりたいこと好きなこと
これだけは言いたいこと、以上 2 点を出し合って、23 期の方向性を決めていく予定。

質疑応答：

酒井：その後のミーティングの日程も第何何曜日と決まった？ →第 4 月曜日

■15. 各部会〔各部会の部会長主催〕の報告

●まちづくり分科会：酒井

（資料なし）

7月17日(月・祝)料理教室型こども食堂 お子様連れ7世帯を含む30名弱が参加
支援品としてパルシステム山梨様からのお野菜などをいただいたので、当日調理に使ったりお土産として持って帰っていただいたりした。

今後は子供食堂とフードパントリーを交互に行って行くことにしまして、次回第40回に
じいろフードパントリー甲府朝日8月21日(月)に開催予定。

●こども夢甲斐塾：酒井

（資料なし）

リアル開催へ移行するにあたって月2回から隔月開催へ移行。こども食堂の学習支援として実施、参加者の7世帯がこちらにも参加。簡単な素読と、古事記の紙芝居を読んだ。

●道徳部会：柴田

（資料なし）

8月15日の終戦記念日に毎年山梨縣護国神社で開催される山梨県戦没者慰霊祭に参列して、中継で全国の戦没者慰霊祭にも参列します。団体として参列すると拝殿内で知事とかと一緒に玉串奉奠をしたりできますので、お身内に戦没者の居る方は是非ご参列を。

補足説明：

酒井：身内に戦没者がいなくても、誰でも参列できるので気持ちのある方は是非。

■16. 20周年記念事業〔20周年実行委員会担当〕の結果：柴田

（資料なし）

直近の支出では、

- ・手帳代として48,830円
- ・花水木さんの印刷費が45,000円
- ・花水木さんの会場費が20,000円

※手帳代が確定するまで待っていた。

総収入：1,254,000円

総支出：1,220,804円

最終残金：33,196円 繰越金として25周年記念事業に回す。

志手帳の配送をもって20周年事業が全て終了しました。ありがとうございました。

質疑応答：

入倉：打ち上げは？ →考えます。

■17. 国家百年の計の会の詳細：酒井

(資料なし)

国家百年の計の会は上甲晃名誉塾長が取り組む事業で8月20日(日)に東京で開催、夢甲斐塾はこちらに毎年乗りあわせで参加していて、現在参加者をイベントリストで募集中。

23期生は上甲先生と繋がりが無いと思うので、時間の合う方はネットで、現地参加する方はイベントリストへ書き込んでいただければ乗りあわせの段取りを組みます。

■18. その他

●防災イベントについて：三枝

-----配布資料：R050801 夢甲斐塾運営会議資料 02_22 期資料. PDF P4-----

資料第4項に沿って説明

9月17日(日)は日赤に参加者を伝えないといけないので、申込を8月末で切りたい。

防災士の資格をとるのに必要な資格を得られるので、是非参加を。

補足説明：

入倉：今期から塾として防災士の資格取得を推奨しているので、都合のあう23期生はこれに参加して取得を。この日に都合が合わない人は別の期会に取得してください。

●令和4年度夢甲斐フェスタ in 郷育フォーラム2『祈りの絵画展』について：山田

昨年の夢甲斐フェスタでウクライナ関係の子供の絵を販売させていただき事業を行わせていただいた件の、その後の報告です。

・共感を得た団体から20万円の寄付をいただいたので、ウクライナで行われているクラウドファンディング2つに10万円ずつ提供した。1つはウクライナで子供食堂の様な事をやっている日本人がいたのでこちらに10万円、もう1つはホッカイロとか医薬品とか空輸できないものがあるので、これをスーツケースへ詰め込んで現地に運んでいる日本人がいたのでこちらにも10万円、寄付させていただいた。

・山梨県内の計測機器の会社がウクライナで製造している製品の日本の代理店になったので、絵はがきをプレゼントしたいということで、沢山購入してくださいました。

正確な収支報告が出せない状態ながら地味に活動を続けている。

公開展示などもあるので、機会があればお声掛けを。

●朝日通り商店街夏祭りについて：厚芝

8月5日(土)に朝日通り商店街の夏祭りがある。

15:30~21:30まで歩行者天国になる。人手不足なので手伝って欲しい。

●山梨市の花火大会について：松田

7月29日(土)は雨宮さん、厚芝さん、大久保さん、網倉さん、佐藤さん、三枝さんを始め、多くの方々にお越しいただきありがとうございました。

●小泉孝造さんの訃報について：酒井

先日現役の22期生の小泉孝造さんがお亡くなりになられた。入塾前から長らく闘病生活を続けておられて、入塾後も体調の関係もあって参加することが難しく、入塾式の懇親会に短時間顔を出されたのみでそれっきりでしたので、22期生としても殆ど誰だかわからないくらいで、夢甲斐塾内でもほぼ紹介者としてしか繋がっていない状態だったので、花輪などは難しく、今回は規約に則ってお香典1万円のみに対応いたしました。

●本日の運営会議終了後の作業について：酒井

配送物の封筒に志手帳を番号に合わせて入れていく作業と、会費を支払っていて総会に来なかった人の封筒に総会資料を入れるという作業があるので、協力お願いします。